

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 7 年 4 月 22 日
② 法人・団体名	特定非営利活動法人ここ		
③ 団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	大阪府吹田市内本町 1 - 19 - 7		
③ 責任者氏名	三科元明	(役職名等)	理事長
④ 担当者氏名	馬場しずか	(役職名等)	副理事長

【奨学活動の概要】					
⑤ 助成交付決定番号	R06-046	⑥ 助成金額	90 万円	⑦ 申請カテゴリ	DS
⑨ 奨学活動名	学校に行っている行っていないに関わらず誰もが進学を選べる社会へ～不登校の子どもたちへの個別学習・相談支援事業～				
⑩ 主な実施場所名・及びその住所	フリースクールここ吹田校【あまかり】 大阪府吹田市内本町 1 - 19 - 7				

⑪ 活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

目的と内容：不登校の子どもたちが在籍校への復学や高校・大学などに進学をするために、塾講師経験のある大学生や有資格者の相談支援員を中心とした個別の学習支援・相談支援事業を実施。

参加人数：1 回につき 11 名×39 回＝延べ 429 名

活動成果：高校受験をした 2 名は第 1 志望に合格、小学生低学年の頃から不登校だった子は在籍校のテストで初めて 100 点を取った

購入した主な物品：

活動から得られたものや反省点：一人ひとりに合った学習支援を継続することができれば、普段から学習に取り組む姿勢が変わり、進学やテストへの意欲も上がることがわかった

⑫ 奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A × B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	429 名	1 時間	429 時間	うち小学生 4 名
高校生等				
大学生等				
学習支援員等	390 名	2 時間	780 時間	
その他				
合 計				

⑬ その他の定量的な数値（任意）

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：学校に行っている行っていないに関わらず誰もが進学を選べる社会へ～不登校の子どもたちへの個別学習・相談支援事業～

法人・団体名：特定非営利活動法人ここ

作成者 氏名：馬場しずか

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

- ・不登校の児童生徒は 2022 年度も過去最多を更新し約 30 万人となったが、36.3%の児童生徒が学校内外で相談・指導を受けておらず、どの支援とも繋がっていない(文部科学省調査)。
- ・当フリースクールに通う子どもたちの背景には、貧困・虐待・いじめ・発達障がい・精神疾患・ヤングケアラーなどが複合的に絡み合っており、一人ひとりの課題や特性・背景に応じた個別での支援を行なった。
- ・有資格者の相談員による保護者を含めた相談支援により、個々のケースに応じた家庭への支援を行ない、発達特性を把握しながら習熟度を測り個別の学習支援計画を立て、少人数で関係性を築きながら心理的安全性を確保し支援を実施。

2. 実施した奨学活動の詳細



参加人数：1 回につき 11 名×39 回＝延べ 429 名

周知方法：ホームページ、SNS（Twitter、Instagram、note）

学習支援員：近隣大学の学生及び当フリースクール職員

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

- ・一人ひとりに合った学習支援を継続することができれば、普段から学習に取り組む姿勢が変わり、進学やテストへの意欲も上がることがわかった。
- ・当日に欠席する生徒も多く、振替えの時間を確保することが思ったより大変だった。
- ・申請金額よりも助成金が少なくなり、当初予定していたよりも規模を縮小せざるを得なかった。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

小学校低学年のうちから不登校になりテストもほとんど受けたことのなかった子どもが、学校のテストで100点を取ってみたいと言ったことがきっかけで、在籍校のテスト対策を実施。その後初めて100点を取ることができ、本人もとても喜んでいました。

また、不登校を経験したものの「全日制の高校へ行き青春したい」と言っていた中学3年生も無事に志望していた高校に進学を果たした。